

# 大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

## 戦争法 首相「実行のとき」 自衛隊幹部に訓示 “政治との直結関係を”

やめてください！



安倍晋三首相は9月12日の防衛省での自衛隊高級幹部に対する訓示で、集团的自衛権行使容認の戦争法＝安保法制の整備や日米新ガイドライン（軍事協力の指針）の策定などをあげて、「今こそ実行のときだ」と述べ、本格的な運用段階への移行を求めました。首相は昨年12月の同会合の間では、戦争法に基づく新任務について「周到に準備してもらいたい」と述べていました。

8月24日の稲田朋美防衛相による新任務の訓練開始表明に続き、首相自らが自衛隊に指示を出した形です。

首相は、自らが強行してきた▽戦争法▽新ガイドライン▽統合幕僚監部への部隊運用一元化▽武器輸出の解禁—といった憲法破壊を列挙した上で、「制度は整った。あとはこれらを血の通ったものとする。必要なことは、防衛省・自衛隊による実行だ」と強調しました。

さらに首相は、「私と諸君との紐帯（ちゅうたい）の強さこそが、日本の安全に直結する。自衛隊と政治とのシームレス（切れ目のない）な関係を構築していきたい」と述べ、政治と軍事の垣根を取り払い、文民統制を骨抜きにする考えを表明。「政治の判断が必要となる事項についても、臆することなく積極的にオプション（選択肢）を提示してもらいたい」と制服組へ政策面での関与を求めました。

9月議会一  
般質問から

## （仮称）歴史と未来の交流館建設の意義



本施設建設構想は、「古代からの豊かな歴史と遺産を多数持つ本村にとって、これを未来に生きる青少年に確かにつなぎ、未来の社会づくりに生かす力を育む場として、これまで設置が求められてきた貴重な施設」と、大名は考えます。12日に行われた一般質問で、他議員から、（仮称）歴史と未来の交流館建設に関する質問がありました。教育次長の答弁「建設の意義」について、抜粋ですがご紹介します。

**観点その1 複合施設的作用** 未来を担う青少年が、郷土東海村に誇りを持ち、先人の暮らしの中から現在を学び、そして未来を考える場。村内の動物や植物などの自然、先人の暮らしなどの歴史や伝統行事を学ぶことで、地元への理解や愛着を深める場。青少年ばかりでなく、あらゆる世代の村民が活用し、郷土の学習、資料保管・展示も行う複合的機能を有する施設。

**観点その2 新たな施設の建設** 村内には、埴輪や土器などの出土品、古文書などの古いものから、絵画、工芸品、民具など現代のものまで膨大な資料がある。決して重要文化財や国宝ではないが、地域にとっての大切な宝と言えるもので、収集・保管・活用し、次世代に継承していくことは行政の責務。貴重な資料は、適正な管理が必要であり、保存処理等も適切でなければならない。法的には、公開等による活用も求められており、常時公開する機能をもった専用の施設を整える必要がある。

**観点その3 運営方法の工夫** 本件構想では、適切な運営も重視する。展示に重点を置くのではなく、村民の興味関心をふまえ、ダイナミックで自主的な生涯活動を通じて、地域に開かれた施設としての運営を図る。開館準備に向けて、資格を有する職員を7月付けで学芸員に発令した。青少年を支援する活動に参加されている大人の方々に、資料の展示などから青少年活動のヒントを得られるようなプログラムも提供していく。自然環境を守る等、地域活動団体とも連携し「まると博物館」構想による幅広い学びの場としたい。